



Japan Region

International Training in Communication

Volume 28

October
2009 1

目次

Table of Contents

Vol.28 No.1

October 2009

1	今期のテーマ	2009 - 2010 Themes
2	ITC 日本リージョン会長メッセージ (日・英)	The President's Message · 2009 - 2010 Goals
4	ITC 日本リージョン第 28 期役員と常任・特別委員会名簿	Japan Region Officers & Committees
6	ITC 会長メッセージ	The ITC President's Message
8	役員および委員長の活動計画	Action Plans of Officers & Committees
12	国際より	From the International
13	第 28 回日本リージョン年次大会のご案内	Invitation to the 28th Japan Region Annual Conference
14	記念例会のご案内	Invitation to Club Anniversary Meetings
15	第 65 回 ITC 大会「Catch the Wave」	The 65th ITC Convention "Catch the Wave"
18	ITC 会則・常規の修正	Amendments to ITC Bylaws & Standing Rules
20	羅針盤「生涯、学びの ITC — 小林 令」	Compass - Interview with ITC member
22	楽しみながら学ぶ・カウンスル会合とクラブ例会	Council & Club Meetings
30	第 27 期会計決算書・監査報告書	The 27th Japan Region Financial Report
31	第 27 回年次大会決算書・監査報告書	The 27th Japan Region Conference Financial Report
32	第 27 期事務局決算書・監査報告書	The 27th Japan Region Office Financial Report
33	第 27 期資産報告書	The 27th Japan Region Assets
34	第 28 期会計予算書	The 28th Japan Region Budget
35	第 28 期事務局予算書	The 28th Japan Region Office Budget
36	事務局より	Japan Region Office Reports
38	日本リージョン資料・物品目録	List of Educational Materials
40	会報をつくるに当たって	Message from Editor
	ITC 宣誓& 声明文	ITC Pledge & Mission Statement of Japan Region

ITC 日本リージョン 第28期テーマ
2009 - 2010

Japan Region Theme
実践 - 知識を叡智に
Practice - Knowledge into Wisdom



日本リージョン会長
岡崎祥子

ITC テーマ
Coach for Success
成功へのコーチ



ITC 会長
Margaret Sutherland
(オーストラリアリージョン)
2009 - 2011



ITC 副会長ディビジョンIV
Sue Martin
(ニュージーランドリージョン)
2009 - 2011

実践－知識を叡智に

ITC 日本リージョン第 28 期会長 岡崎祥子

ITC 日本リージョン第 28 期もいよいよ本格的な活動が展開されています。各カウンスル、クラブにおかれましても計画から実働、実践の段階に移られていることと思います。

今期、リージョン役員会は心を合わせ、考え、工夫し、ITC の組織のさらなる発展と会員お一人おひとりの向上の手助けができますよう、務めたいと思っています。

私は、日本リージョン第 28 期のテーマを「実践－知識を叡智に」と致しました。まず、短期目標の一つにカウンスルレベルでの PREM 活動の促進を掲げました。前期末に 2 クラブ解散という胸の痛むニュースに直面し、会員数の減少を憂う現況では、PREM 活動の促進は日本リージョンにおいてもはや最優先課題です。各カウンスルが PREM 活動の場で実践を通して会員の維持・増強に取り組んでいただきますようお願い致します。

短期目標のもう一つにクラブレベルでのプログラム・教育の充実を掲げています。私たちが基本的に学んでいく場所はクラブです。毎例会のプログラム・教育を大切に取り扱い、目標を目指し、実践を通して個々の成長へとつながりますようお願いいたします。

一年を通じ、実践を通して知識を得、その知識が叡智へと高められ、叡智との出会い、気づきがたくさんありますようお願いいたします。

日本の経済状態も芳しくなく、また ITC での不安材料も多い昨今ですが、ITC のトレーニングの実践により少しでも好機に転じさせたいものと思います。

クラブ、カウンスル、リージョンと全レベルで日本リージョンをつくり上げてまいります。

日本リージョン第 28 期テーマ

「実践－知識を叡智に」

Practice-Knowledge into Wisdom

長期目標 「組織運営の再考」「会員の支援と増強」

短期目標 「カウンスル＝PREM 活動の促進」

「クラブ＝プログラム・教育の充実」

Practice - Knowledge into Wisdom

28th Japan Region President: Sachiko Okazaki

Now that ITC Japan has already been in full-fledged action, I suppose each council and club has also begun to move from the stage of planning toward its actual work and implementation.

At this moment the board of directors are firmly resolved to work together so as to help our organization to improve and to offer every possible support to each and every member. With that resolution in mind, I have decided to make the phrase,

“Practice - Knowledge into Wisdom” , the theme of this term. In order to put this theme into practice, I would like to advocate the promotion of PREM activities as one of the short-term objectives of this year for councils. Regrettably we were faced with the dissolution of two clubs at the end of the last term. Moreover we are suffering from the decrease in the number of membership. So the promotion of PREM activities should be our highest priority. I want all councils to make utmost efforts to maintain and reinforce the membership through practicing PREM activities.

Another thing I would like to promote as a short-term objective is to enrich the program-education in clubs. Basically clubs are the places where we mainly learn. So I hope that all of you will respect the program-education at regular club meetings and aim your goals. I believe that it will lead to your personal development.

I also believe that you can acquire invaluable knowledge through practicing and that it can be transformed to true wisdom. And I hope there will be a lot of realization of wisdom throughout this one year and that you will be surely enlightened in this process.

Although Japan is deep in economic slump and at the same time ITC is facing various anxieties, I would like to change such adversities into our good opportunities for improvement by implementing ITC training methods. Let us take every opportunity to make ITC Japan better and work together in clubs and councils for the further development of Japan Region.

Japan Region 28th Theme

“ Practice- Knowledge into Wisdom”

Long term: Reconsideration of the organization management

Support and reinforcement of the membership

Short term: Council--Promotion of PREM activities

Club--Enrichment of Program-Education

ITC 日本リージョン第 28 期役員

～気持ちを新たに～



後列左より 津田由貴 豊川三千代 加藤正枝
前列左より 武内浩子 岡崎祥子 秦野順子

【選出役員】

会 長	岡崎祥子（米子）
次期会長	武内浩子（甲南）
第一副会長	秦野順子（米子）
第二副会長	豊川三千代（城北）
書 記	加藤正枝（岡山あくら）
会 計	津田由貴（西宮）

【任命役員】

議会法規役員	西田富美子（平安）
編 集 者	高木彬子（ひろしま）
事務局長	酢谷道子（甲南）
C L O	加藤玲子（名古屋）

ITC 日本リージョン 第28期常任・特別委員会名簿

常任委員会	委員長	委 員		
資格認証	土川邦子 (西宮)	杉山満佐子 (関西)	吉江育子 (尼崎)	
会計監査	田口邦子 (錦)	長尾妙子 (葵)	高尾邦仁子 (サタデー)	
予算・財務	東口光子 (南大阪)	堤 其美子 (千里)	藤原いと (平安)	
会則・決議	白垣駿一 (サンデー)	小林 令 (東京)	片桐寛子 (錦)	寺西キヌ子 (アクア千葉)
大会準備	山本陽子 (松江)	野津寛美 (米子)		
選挙	目片ミヨ子 (琵琶湖)	段 紅子 (大阪)	佐伯圭子 (葵)	本儀協子 (琵琶湖)
国際交流	中島みお子 (梅田)	中込寿美 (北摂)	竹田清子 (北摂)	
指名	山崎真知 (宝塚)	島本佐江子 (名城)	大藪京子 (平安)	
PREM	豊川三千代 (城北)	加藤咲子 (岡崎)	杉谷和代 (イースト神戸)	竹内邦子 (姫路)
		石黒慶子 (瀬戸内)	三宅小夜子 (北大阪)	山田千恵子 (京都)
		田中英子 (鳥取)	川崎洋子 (東京セントラル)	
プログラム・教育	秦野順子 (米子)	加藤玲子 (名古屋)	佐藤明子 (名古屋)	横山末子 (六甲)
		杉本隆人 (芦屋)	皆川迪子 (ひろしま)	石田恵子 (平安)
		明島智保子 (倉吉)	野村恵子 (とっとり砂丘)	関 稔子 (東京)
スピーチ コンテスト	山崎文恵 (ひろしま)	社本美穂子 (錦)	但野眞理子 (阪神)	国京よしみ (舞子)
		服部英子 (瀬戸内)	和田晴子 (岡山)	川嶋久美子 (梅田)
		城山博子 (平安)	八村恵美子 (鳥取)	住田実寧子 (米子)
		藤井豊子 (倉吉)	大屋奈々 (東京セントラル)	
特別委員会	委員長	委 員		
通信書記	加藤玲子 (名古屋)	川端恵美子 (米子マンデー)		
派遣員資格 確認	林 栄子 (彩玉)	江利川富江 (彩玉)	増井美恵子 (彩玉)	瀧澤孝子 (彩玉)
		前川雅子 (姫路)		
寄付・遺贈	住田実寧子 (米子)	森下道代 (飛騨高山)	福井まさよ (三田)	田中基子 (ポート神戸)
		溝田泰子 (福岡)	山本篤子 (北大阪)	小嶋友子 (平安)
		井上寿子 (出雲)	櫻井慶子 (東京)	
組織運営研究	坂口正子 (大阪)	泉 和子 (阪神)	西田富美子 (平安)	六車紀代子 (岡山)
監 修	高橋和子 (阪神)	泉 和子 (阪神)	奥田小夜子 (錦)	

事務局・編集

事務局	部長			
コンピュータ	事務局長兼任			
出版	中村記子 (六甲)			
資料	鈴江 恵 (西宮)			
翻訳	黒柳美紀子 (千種)			
経理	海老原あかね (しらさぎ)			
編集	スタッフ	石崎慶子 (ひろしま)	沖田道子 (ひろしま)	米門公子 (福山)

Coach for Success

成功へのコーチ

Margaret Sutherland, Fellow of ITC
ITC President

テーマ「Coach for Success 成功へのコーチ」に込めた思いは？

「Coach for Success 成功へのコーチ」が意味するのは「目標を達成するために、共に働き、共に学び、共にサポートするということ」であり、良い結果を出すためには何らかの行動が必要とされている、テーマで行動を起こすよう呼びかけたいという思いがあったからなのです。

「すべての人が共通して持っているものは何だろうか」と自分に問いかけた時、スポーツは世界中で行われており、スポーツのチームや個人には常にコーチがついていると思いつき、ITCのテーマにもコーチという言葉を使用することに決めました。コーチという英単語の語源は、輸送手段・乗り物の「コーチ」です。私は、ITCとは「POWERtalk International」というブランドを通してメンバーがより良いコミュニケーターになるのを手助けする乗り物／手段であると考えています。例えば、効率的なスピーチをするためにコーチする、といったように。そして私たちがより良いコミュニケーターになれば、生活・仕事においてさらなる成功を取ることができる、つまり、二つ目の言葉「Success (成功)」にたどり着きました。

こうして、私は2つの言葉を使うことに決めたわけですが、このテーマによって、私は一体何を会員に伝えようとしたのでしょうか。トレーニングとPREMが、今期の焦点となるものであり、ITCの根幹を成すものです。今後ITC会員となる可能性のある人々や、既に会員である人々に対する私たちの約束は「あなた方が、より良いコミュニケーターになるためのトレーニング・コーチを行う」というものです。PREMチームはこの約束を掲げて、会員を保持・増員する努力をしています。

会員増強のターゲットは？

私たちは若い会員に入会してもらうために、今こそ行動を起こさなくてはなりません。思い出してみてください。皆さんがトーストミストレス／ITCに入会されたのは何歳の時でしたか？ 私は30歳代で入会しました。多くのメンバーは30～45歳代で入会しています。

私はITCに入会した当時、職場でのキャリアを積もうとしており、雇用主や同僚と意見を異にする時には、はっきりと抗議したり、自分の立場や考えを明確に主張するための自信を必要としていました。ITCの訓練で、それを成功させることができました。

今日では、人々は早い段階から同じ課題に直面しています。彼らは成功し昇進する自信を得るためのコーチを必要としています。彼らの多くは優れた理論を持っていますが、実践ができていません。

また、早期退職後にさらなる自身の成長を願う人、それまでの人生で培ってきたスキルを活用して地域に恩返しをしようとする人、そのようなスキルを使って誰かを指導しようとする人なども存在します。この最後のグループは、年齢・就業状況を問わず、コミュニケーションのプロセスにおけるすべての面を豊かにしようと純粋に願っている人々です。

会員増強のための視点は？

ターゲットとなり得る人がこれだけたくさんいるにもかかわらず、どうして会員を増やすことが難しいと、私たちは考えてしまうのでしょうか？ 既存のメンバーに対して、成功のための助言・指導・補助をしていく一方で、私たちは次のような視点を今こそ、自らのクラブに持ち込む必要があります。

- * 私たちは若い人々が何を必要としているのかを見極める必要があります。
- * 私たち既存会員としては、若い人に入会してもらい、私たちのコーチ方法や組織に対して新鮮な意見を言ってもらう必要があります。
- * 私たちのトレーニングを通して、彼らや既存の会員の抱えている課題が解決されるように試みなくてはなりません。

「Coach for Success 成功へのコーチ」の具体的な方法は？

「Coach for Success」を実践したITC役員会の例をお示ししましょう。これまで2回ミーティングを開きました。1回目は世界大会直後に3日間にわたる役員会を開催しました。そこでは連続して務めている役員が新しい役員にコーチを行い、議会法規役員はビジネスについて会長をコーチしました。私たちは「buddy system バディ方式」※を導入し、ペアを作りました。それによって、新しい役員には必ず「メンター」が存在し、必要な時にはコーチが行われます。ミーティングは大成功でした。

2回目は「サイバー・ミーティング」を行いました。半数の役員にとって、それは初めての経験でした。ここでもまた、継続役員が新しい役員に対して、ミーティングの前とミーティングの際にコーチを行い、とても効果的でした。すべてのビジネスを完遂し、90分の予定時間で終了しました。

私は役員に、作者不詳の格言を贈り、今期のテーマを具体化していく過程において定期的にその言葉を思い出すようにお願いしました。ここで、その言葉を皆さまと分かち合いたいと思います。

- * お互い「誤」ではなく「正」を選ぶことができるよう、助け合いなさい。
- * 新しいアイデアを機能させる方法を探しなさい。一なぜ機能しないかという理由ではなく。
- * お互いが目標達成できるよう助け合いなさい。
- * お互いの成功を喜び合いなさい。
- * 問題を探すのではなく、一解決策を探しなさい。
- * 自らの組織について肯定的に語りなさい。
- * 何事も情熱を持って取り組みなさい。その姿勢は他の人にうつります。
- * 「自分には何ができる？」と自らに問いなさい。「あなたには何ができる？」ではなく。
- * 他の人をコーチしなさい。そして、コーチしてもらいましょう。
- * 成功は成功を生みます。試してみてください。とても気持ちの良いものです。

※ バディ方式…キャンプや登山などにおいて、二人組となり互いに相手の安全に責任を持ち合うやり方

役員活動計画

実践するプログラム

第一副会長 秦野順子

日本リージョン第28期プログラム・教育委員会は、今期テーマ「実践—知識を叡智に」のもと、実践力を高めることを目標に取り組んでまいります。

今期は年次大会において、外部講師によるワークショップとともに、会員によるワークショップを4部門開催致します。これらは各カウンスルに担当していただき、一年をかけて練り上げられ、構築されたワークショップとなる予定です。

当委員会ではこの理念として、自己啓発・コミュニケーション・評価・リーダーシップのプログラムの4つの柱につながることを目的とし、会員による実践を目指すものです。ご期待くださいませ。

「脳の可能性は無限である。人間の脳は、高みを目指し、負荷をかけ、鍛錬すればするほどその輝きを増す。脳を輝かせるのに必要なのは、じっくり考えること、それから、真剣なる対話である」。脳科学者の茂木健一郎氏の言葉です。まさにITCは、うってつけの修練の場ではないでしょうか。

私たちITC会員は、常々自己向上心の気概を忘れず、生きる上での叡智を探求してまいります。

さあ、皆さま、自分の可能性に挑戦してみてください。

PREM活動をより温かく

第二副会長 豊川三千代

ITCの組織も刻々と変化しています。

皆さまご存じのように、日本リージョンにおいては毎年100名近い会員数の減少という現実を目の当たりにしております。そこで今期はカウンスルおよびクラブの現状をより具体的に知るために、各レベルの第二副会長報告書を新たに作成致しました。

この報告により各クラブ、各カウンスルの持つ問題点などが把握でき「会員の支援と増強」につながりますよう、切に願っております。

またポジティブな思考力を多々お持ちのリージョンPREM委員会の皆さまをはじめ、全会員の情熱と努力を頂きますならば、この先行き不安な時代にも対応できるのではと、いえ、しなければならぬと思っています。

こういう時代にこそ心を通わす温かいコミュニケーションの大切さが問われるのではないのでしょうか。

また、パソコンの必要不可欠な時代なればこそ、顔と顔、声と声を通しての温かいコミュニケーションの共有が必要と思います。

今期のリージョンの方針の一つであるクラブ、カウンスルの訪問を大に行い、会員相互の理解と交流の促進に務めたいと思っております。

リージョン、カウンスル、クラブを越えて交流促進に励んでまいりましょう。

ITC 日本リージョンの歴史を紡ぐ任務に就いて

書記 加藤正枝

書記の大きな任務はすべての会合の議事録を作成し、通信事務を行うことです。そして、今までのいろいろな記録の保管をします。書記が保持している記録は日本リージョンの歴史でもあります。

その日本リージョンの歴史を今期第 28 期がまた重ねてまいります。第 1 期から重ねてきた歴史を議事録としてつなぎ・・・来期へ、そして ITC の未来へと紡いでまいりたいと思っております。正確で簡潔な議事録を作成することを心がけてまいります。

また、今期の目標・方針に従い、リージョン役員がカウンスルやクラブへお伺いすることも多くなることと思います。リージョン書記から各レベルの書記の皆さまへのメール発信も沢山あるかと思えます。どうかよろしく願いいたします。

大切な会費を有効に

会計 津田由貴

会計は、会員から頂いたリージョン年会費を預かり、予算に沿って支出を管理する大切な任務を負っています。会員の皆さんには、会費収入で活動している ITC 日本リージョンが、今期どのような活動をし、会費がどのように使われるか、第 28 期の予算に対し興味を持ってご覧いただきたいものと思います。

会計は、事務処理が多いので正確かつ迅速でなければなりません。ためてしまうとあとが大変です。書類も頭も常にすっきりと整理整頓されていなければなりません。

今期リージョン会計として、活躍される各レベルの会計の皆さまとともに、それぞれの会費が活発な活動に有効に使われるよう助言し、堅実な管理運営がなされることを目指します。

委員長の活動計画

資格認証過程取得に対して会員の認識を高める

資格認証委員会

資格認証委員長 土川邦子

資格認証過程は計画的な訓練を通して個人の成長と発達を促進するものであり、会員各人が自発的に参加することが基本となっています。

自発的に、任意に参加するという形態をとっているため、各自の希望の速度で取得できることはメリットではあるのですが、一方 20 年以上 ITC で訓練を受けていながら今までまったく取り組んだことがないという会員がいるというのも現状です。

一人でも多くの会員に資格認証過程への参加を促すためには、やはり会員に直接接触しているクラブの資格認証委員会へ協力を要請することが、活動のスタートだと考えました。そのためには、もちろんカウンスル資格認証委員長からその旨をしっかりと説明していただき、所属クラブ資格認証委員会へ連絡、協力の要請をしていただかなくてはなりません。

クラブの資格認証委員会は、まずクラブ会員一人ひとりの現在の資格認証過程取得状況を知る、次の過程取得のために一人ひとりに具体的かつ適切なアドバイスをする、そうすることによって確実に課題が達成できると思うのです。

会則・決議委員会 チェンジの提案

会則・決議委員長 白垣駿一

去る7月18日から24日の1週間、ITC 史上初めてのアラスカクルーズの豪華？ 客船上で行われた第65回世界大会に筆者は出席した。大会プログラムのうち、ビジネス、その中でも特に会則セッションほど、楽しいものは無い。今期の修正案の数は37件中くらいの規模。マイクの前行列のできる、賛否の激論。複雑に絡み合う数々の修正案の審議に当たって、国際会長の見せる見事な手綱捌き。世界大会でスピーチコンテストと並ぶとも劣らない見せ場の多い、楽しいセッションと言えよう。

これに引き換え、世界最大のメンバーを擁する日本リージョン年次大会はどうであろうか。修正案の提出も少ないし、議論も低調である。いささか寂しい気がするのは筆者だけではあるまい。この状態はカウンスルでもクラブでも変わらない。日本人の民族性であろうか。議論は、民主主義の基本である。国際化が叫ばれて久しい。いたずらに会員の頭数だけを誇るのはやめて、そろそろ中身の充実の時期である。

時あたかも海の向こうの、オバマ政権へのチェンジに呼応して、日本でも過日の選挙で政権のチェンジがあった。リージョンでも会則修正案を提出して、議論を楽しむという、チェンジを成し遂げようではありませんか。

国際交流委員会 「ITC 大会」のアンケート

国際交流委員長 中島みお子

国際交流委員会の任務は、海外からのメンバーを歓迎したり、海外との交流に関する任務を行います。また、世界大会情報の翻訳・提供はもちろん、大会に関連する旅行企画や諸手続きなどもあります。

2009年7月18日～25日にかけて開催された「第65回ITC大会」のアラスカ・クルーズでは、約300人の大会参加者のうち、日本からはゲスト15人を含む78人が参加されたそうで、国際交流委員としての仕事はさまざまなものがあつたようです。

今期は世界大会の無い年ですので、来期の大会参加の一助になることを願い、まずは国際交流委員会主催のツアーはもとより、大会に参加された方たちのお声をお聞きし、広く会員の皆さまにお知らせするためのアンケートを取ることを考えています。この場をお借りして、2009年度の世界大会に参加された皆さまにはアンケートへのご協力をよろしくお願い致します。

また、大会に参加されなかった皆さまには、大会やツアーを含むエンターテインメントの様子をうかがい知れるようなアンケート結果が出てくるのをお待ちいただきたいと思います。

スピーチコンテスト委員会 新しい試みがいっぱい

スピーチコンテスト委員長 山崎文恵

今期は3つの特徴があります。

- ① スピーチコンテストは大会2日目に英語・日本語の同時進行で開催されます。日本で世界大会が開催された年以来のことです。
- ② 今期はスピーチコンテストの規則と任務が改正される年でもあり、各々のレベルで緊張のスタートとなりました。改訂版「スピーチコンテストの規則と任務」とブランド入りの「スピーチコンテスト関係書類一式」は日本リージョンウェブサイトに掲載してあるものを使用してください。
- ③ 委員会の構成は全カOUNSルから選ばれました。従来の顔を合わせての委員会から写真で委員を知り、EメールやFAX通信で協議し、決定するという、IT時代にふさわしい委員会運営を行っています。他カOUNSルの優れた人材も発掘できる恵まれた環境設定でもあります。

「スピーチコンテストに出るのは嫌」と言っている人も「リージョン大会でコンテストが無いと寂しい」と声を大にして話されます。あの感動場面を皆さまも体験してください。そしていつかは夢を実現してください。

組織運営研究委員会 日本リージョンの「組織運営の再考」

組織運営研究委員長 坂口正子

組織運営研究委員会は日本リージョン第20期に特別委員会として任命され、発足以来、歴代の委員会は日本リージョンの組織運営について検討を重ねてきています。

今期も委員会の任務である考察、調査、研究に基づき日本リージョンの組織運営が効率よく運ぶよう「組織運営の再考」を検討してまいります。

将来、日本リージョンでは会員の高齢化と、ITCとの両立が難しくやむなく退会する有職者が増えてくるとおられます。現在、各クラブの自助努力にもかかわらず、会員数の少ないクラブが増えており、組織の「礎」となる会員の減少を食い止める解決策が見つからないのが現状です。将来を見据え、組織が円滑に運営されるために委員会として今なすべきことはないかななどを課題の一つとして検討していきたいと考えています。

日本リージョンには会員数2名のクラブそして10名以下のクラブが16クラブあります。ITC会則18.6.1に、クラブの役員は最小限、会長、書記、会計または書記兼会計と、適用される場合には1名のカOUNSルへの派遣員とすると明記されています。またITC会則18.9.1に、クラブは資格認証に責任を持つ常任委員会を置くと明記されています。以上を満たしていないクラブはITC会則に抵触するため、注意が必要です。

～日本リージョンに関係する、
最近の、国際の3種の教育情報をお伝えします～

日本国内トレーナーの誕生 おめでとうございます！

ITCでは、パワートーク ショートコースの研修を現代の教育の主流としております。これは、私たちの組織の教育の原点である「言葉を大切に扱う」ことを、分かりやすく、簡単に、それでいて社会生活において十分役立つように勉強することができる教育材料です。この研修内容をITC内や外部において指導することができる資格を得た会員の名称を、“Trainer”（トレーナー）と称しています。この資格は、パワートーク ショートコースの講習をすべて受講し終わり、“Train the Trainer”（トレインザトレーナー）の審査で一定の基準を超えた方に国際から与えられます。このたび日本リージョン内にも次の7名のトレーナーの資格を得られた方々が誕生しました。

中島由美子 No.3 (芦屋)	平井 典子 No.5 (豊中)
家村 悦子 No.6 (京都)	八百谷和子 No.7 (鳥取)
藤井 豊子 No.7 (倉吉)	城戸 幸子 No.8 (東葛)
山口久美子 No.8 (荏岐)	(敬称略 クラブチャーター順)

これからは、クラブやカウンスルでまた社会で、リーダーとしてご活躍なさいますことを期待します。

Fellows of ITC 泉 和子、小菅あけみ

International Training Weekend の日本初上陸！

日本国内に居ながらにして国際レベルの教育を日英両語で受けることができます！

世界大会の開催の無い年に、隔年に開催される、教育を主体とした国際行事、Training Weekend が、2010年10月22日（金）—24日（土）、神戸ポートピアホテルで開催されることが決まりました。世界大会より小規模ではありますが、内容は世界大会やリージョン大会のビジネス部門を除いたもので、全体会議やワークショップが数多く盛り込まれ、日本では初めての開催ですから、海外からの参加者も多い見込みです。国内で日英どちらの言語でも国際レベルの教育が受けられる、またと無いチャンスです。ぜひご参加ください。

コーディネーター 泉 和子、アシスタントコーディネーター 小菅あけみ

国際から日本へ翻訳援助金寄与の確定！

必ず翻訳を必要とする日本が、国際から提供される多くの教育資料の翻訳費の捻出に苦慮していることは以前から承知していましたが、それを少しでも改善し、いち早く会員に日本語訳を提供できるための策として、昨年度の国際役員会に翻訳援助金の拠出を願い出ておりましたところ、このたびNZD3,000が今後毎期日本リージョンへ寄与されることが決定しました。この援助金でマスターマニュアル第10章「ディベート」を早速翻訳し、皆さまにお届けすることができるようになりましたことをご報告いたします。

2007-2009 国際役員副会長、2009-2011 Representative of Japan 泉 和子

第28回
日本リージョン
年次大会のご案内



大会コーディネーター 山本陽子
コ・コーディネーター 野津寛美

開催日：2010年 5月25日(火)～26日(水)

場 所：【メイン会場】米子コンベンションセンター

<http://www.bigship.or.jp/>

〒683-0043 米子市末広町 294

TEL 0850-35-8111

【晩餐会会場】大山口イヤルホテル

<http://www.daiwaresort.co.jp/>

〒689-4192 西伯郡伯耆町丸山中祖 1647-13

TEL 0859-68-2333

第28回日本リージョン年次大会は、カウンスルNo.7、山陰地方で初めて開催される大会です。

メイン会場は、最新の機器をそろえた公共施設「米子コンベンションセンター」です。JR米子駅から徒歩5分の所に位置します。現在、プログラム・教育委員会では、それらの電子機器を駆使したプログラム日程を目指し、熱心に取り組んでおられると伺っています。

晩餐会は、新緑の美しい「大山口イヤルホテル」です。周辺で採れた新鮮な海の幸・山の幸の豊富な食材を活かしたお料理で、お待ちしております。

また、大会の前後には、山陰の地を思う存分楽しんで頂ける魅力溢れる観光スポットを幾つか準備する予定です。「山陰は初めて」と、おっしゃる方、この機会にどうぞお越しくださいませ。

ホストカウンスルのNo.7は、近くのカウンスルの方にもご協力を頂きまして、皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

記念例会のご案内

米子クラブ25周年記念プログラム「鷺見恵理子ヴァイオリンリサイタル」

日時：2009年11月9日(月)13時～15時
会場：米子全日空ホテル
参加費：1000円(コーヒー・ケーキ付)
申込先：米子クラブ第一副会長 勝部芳子

しらさぎクラブ20周年記念式典

日時：2009年11月17日(火)11時～15時
会場：ホテル日航姫路
プログラム：講演「笑いでコミュニケーション」桂あやめ氏
エンターテインメント：音曲漫才「姉様キングス」桂あやめ氏 & 林家染雀氏

眉山クラブチャーター式典

日時：2010年1月27日(水)11時30分～15時15分
会場：阿波観光ホテル
プログラム：講演「今だから話せる大塚国際美術館創設裏話」平田雅男氏
パフォーマンス「美のプロムナード」

名古屋クラブ60周年記念祝賀会

日時：2010年3月15日(月)11時～
会場：名古屋観光ホテル
プログラム：講演 茂木健一郎氏

出雲クラブ第20期特別例会

日時：2010年3月24日(水)11時～14時30分
会場：ヴィラ・ノッチェコルティエーレ出雲
プログラム：出雲大社にまつわるお話(講演)、エンターテインメント、出雲クラブ20年のあゆみなど(予定)

平安クラブ30周年記念例会

日時：2010年4月15日(木)11時～15時
会場：京都ブライトンホテル
プログラム：講演 岡部達昭氏
エンターテインメント：中国古箏奏者 蔡愛琴

淡路クラブ10周年特別記念例会

日時：2010年4月15日(木)11時～15時
会場：ニューアワジホテル

岡山あくらクラブ20周年記念例会

日時：2010年4月21日(水)
会場：岡山後楽園鶴鳴館

「Catch the Wave」

この夏、カナダのバンクーバーを出航した9万トンの豪華客船 Serenade of the Seas 号の船上で8日間にわたり開催された第65回 ITC 世界大会の参加者総数は294名。日本からは63名もの会員が参加し、さまざまな分野で活躍しました。その大会のようすを原稿でお寄せいただいたり、座談会で話していただきましたので、誌上でご紹介します。

アラスカ・クルーズに参加して

第27期日本リージョン会長 大野三恵子（京都クラブ）

初めての試みとして、2500人乗りの全く揺れない大型客船 Serenade of the Seas で行われた大会は今までにない楽しみがありました。目の前に現れる雄大な氷河、水平線に沈む夕日、毎回異なった国の会員と共にするディナー、音楽とダンス、ミュージカルやイルージョン、寄港地での観光、クルーのホスピタリティ等、毎日があっという間に過ぎてゆきました。

開会式には、アメリカ・カナダ・ニュージーランドの国旗入場の後、各国から提出されたワンワードと写真がスクリーンに映し出されました。

大会中は小管あけみさんが率いるボランティアによる同時通訳。事前の原稿もなしで、それに挑戦された会員の努力には感心しながらも、同時通訳の難しさがよく分かりました。

会員によるワークショップはバラエティに富み、クラブやカウンスルでも使えそうな内容もありました。スピーチコンテストに出場された黒野美由紀さんは「Wa Shoi, Wa Shoi」と祭りの半被姿で登場、素敵でしたが残念ながら予選まででした。コスモポリタン・スピーチコンテストでは、乙野靖子さんが見事優勝されました。

議事会議はメアリー・マーシャル会長の毅然とした進行にそって行われ、泉和子副会長も役員会の一員として立派に役目を果たされました。

各国の会員が集まりコミュニケーションを図る中で、ITCの共通の目的を持ちながらも国民性の違いや文化の違いを感じる事が出来ました。そして表現力の豊かさと率直さを学ぶことが出来た有意義な大会でした。

修正案審議

第27期日本リージョン議会法規役員 高木清子（京都クラブ）

37の修正案が提出されている今回の大会の審議は、それらの修正案の行方がどうなるかということと、どのように討議されるかという2点が大きな関心事でした。Mary Marshall 議長はテキパキと見事にそれらをさばいていきました。発言者には意見を十分に述べさせると同時に1人2分、1議案の時間は10分という大会規則を守らせ、一方では必要に応じて時間延長動議を出させるという柔軟さがありました。審議の手本を見たように思います。以下の修正案について興味ある討論がなされました。①クラブが有資格であるための会員数②重複会員のあり方③教育時間の最低リミット④ITC 宣誓の文言、の4件です。

日本リージョン所属クラブからも修正案が提出されましたが、これらは採択されませんでした。提出者は、①自クラブから派遣員を出すこと②理論的に提案理由を述べると同時に反論に対してしっかりと説得する力量と信念をもつこと、の必要性を感じました。

今回は日本にとって不都合な修正案#35（クラブ教育時間24時間以上）とITCの根幹に係わる修正案#37（ITC 宣誓）がありました。これらについては、発言者がマイクの前に立ち pro（賛成）con（反対）の意見の応酬がありましたが、理論的に述べる意見には説得力がありました。周到な準備と度胸を持てば日本の会員も十分に太刀打ちできます。議論を避けない姿勢が大切であると感じた審議でした。

第 65 回 ITC 大会に参加して

～やってみて学ぶ～

出席者：高山敦子（淡路・クリスタル神戸・北摂）
藤田令子（ひろしま）、皆川迪子（ひろしま）
高木彬子編集者（ひろしま）

高木—まず最初に、このたびの大会で一番印象的だったことをお聞かせください。

高山—何ととっても、ホスピタリティの素晴らしさですね。タイトなスケジュールが組まれていたにもかかわらず、雰囲気はとてもゆったりしていました。会員は4つのディビジョン、14カ国から参加していましたが、どの会員も歓迎されているという気持ちを抱いたと思います。

皆川—スピーチコンテストに「Voyages of Discovery」というタイトルが付き、プログラムにも海に関する言葉が散りばめられているなど、「Catch the Wave」という大会テーマがすべてに統一されていて、すてきでした。

世界大会で特別なことは、ファーストタイマーと呼ばれる初参加の人のためのオリエンテーションです。魅力的な元国際会長の方たちが担当してくださるので、とてもうれしいことだったと思います。

トレーニングセッションは事前に申し込んでおくのですが、それが無くても当日時間前に行き入り口に並んでいけば、席の空いている人数を順

番に入れてくれます。合理的だと思いました。

合計18のトレーニングセッションのリーダーは全員ITC会員でした。リーダーに気負った様子は無く、リラックスしていて、会員からフィードバックがあることを楽しんでいるようでした。最近ではリージョン、カウンスル、クラブでさえも外部の方を講師として呼ぶことが多くなっていますが、世界大会では“やってみて学ぶ原点”を見た思いです。

高木—修正案の審議はいかがでしたか。

藤田—前回のプリスペインからの積み残しを含め37の修正案がありましたが、Mary Marshall議長は、「1審議は10分一人2分の発言時間」という大会規則にのっとって、スムーズに審議を進められました。日本の会員にとって関心の高かった修正案について報告しますね。

PREMのMがMentoring(メンタリング)からMembership(会員)に変更されました。ITCの根幹にかかわるITC宣誓の文言の修正案は、ITC宣誓の「我々インターナショナルトレーニングイン コミュニケーションメンバーは」を「我々



大会会場となった豪華客船 Serenade of the Seas 号



7月18日、アラスカクルーズに向け、カナダのバンクーバーを出航



スピーチコンテストのコメントを話す主審の Doon Wilkins 氏



第 65 回 ITC 大会冊子
「Catch the Wave」



世界大会に参加した高山会員、藤田会員、
皆川会員から大会のようすを聞く
高木編集者

パワートーク インターナショナルのメンバーは」に修正しようとするものでした。日本リージョンの高木清子前議会法規役員が「インターナショナルトレーニング イン コミュニケーションという組織の名前を絶対変えてはならない」と力強く反対意見を述べられ、反対大多数で否決されました。高木—スピーチコンテストの結果はどうだったのでしょうか。

高山—とてもうれしく、名誉なことに、英語を母国語としない国の人を対象にしたコスモポリタンスピーチコンテストで、北摂クラブの乙野靖子さんが優勝されました。

高木—そういえば、高山さんは次の世界大会で、コスモポリタンスピーチコンテスト委員長を務められるそうですね。

高山—そうなんです。次の大会でも、日本の会員の方が活躍されるのを楽しみにしているんです。

高木—英会話が苦手な会員にとって、世界大会は少し遠くに感じられます。言葉の壁を感じることはありませんでしたか。

藤田—私も英語は苦手なのですが、今回は日本語

翻訳機器をお借りすることができ、日本からの参加者がボランティアで通訳をしてくださったので、ビジネスもよく理解できました。

皆川—今回はクルーズ船上での大会ということで、ITC 会員だけでなく、世界各国から集まっている乗客やクルーとの交流も心に残る楽しい思い出になっています。フレンドリーな雰囲気、船自体がグローバルコミュニケーションという感じでした。

高木—一次の世界大会までに、準備しておいたらいいなと思うことはありますか。

藤田—個人的にですが、初歩の英語とダンスをマスターしておけば、もっと楽しめるかなと思いました。

高山—世界中の会員と交流を楽しむ一方で、せっかく日本から大勢で参加するのですから、団長役がいて、一つにまとまることができたら、もっと盛り上がるのではと思いました。

高木—楽しいお話を聞かせていただき、どうもありがとうございました。



ワークショップ「10 Tips for Top Workshops」



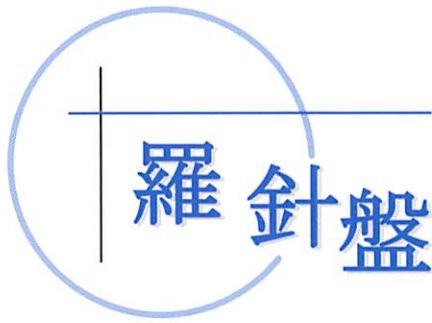
第 65 回 ITC 大会に参加した日本からのメンバー

会則・決議委員長 白垣 駿一

アラスカクルーズ船上で行なわれた、第 65 回 ITC 大会に提出された修正案のうち、下記 24 項目が採択又は修正後採択（修正案 4 と修正案 6）されました。文中の青字は修正方法を示します。英文が必要な方は ITC のホームページを参照下さい。

- 修正案 1 第 1 条 1.2. ブランドネーム（新規）
新たに第 1 条 1.2. の条項を挿入し、それに従い、条項番号を繰り下げる。
1.2. ブランドネーム この組織は、“パワートークインターナショナル”をブランドネームとしてマーケティングする。
- 修正案 2 第 1 条 1.2. 管理運営事務局・運営
本部を削除して管理運営事務局を挿入する。
1.2. 管理事務局・運営 当法人組織の管理事務局とその運営は、ITC 国際役員会（以下、ITC 役員会とする）がこれを定める。
- 修正案 4 第 6 条 懲戒
置き換え
6.1. クラブあるいは会員の行為が、ITC の名称や評判を損なっているとき、あるいは ITC の利益に反し軋轢を組織内に起していると考えられるとき、このような行為の解決は、1 つ上のレベルにゆだねられる。1 つ上のレベルの役員会の 2/3 の賛成投票により、権利の一時停止、除名、あるいは辞職、等が最適であると決定されれば、権利の一時停止、除名、辞職の勧告について、その調査と決定が国際役員会にゆだねられる。国際役員会の決定に従い、該当レベルが、権利の一時停止、除名、あるいは辞職の勧告を実行する。
- 修正案 5 第 7 条 7.4.1. 大会登録費
置き換え
7.4.1. 全会員の大会登録費は、ITC 常規に明記される。
- 修正案 6 常規第 6 条 ITC 大会登録費
常規に新たな第 6 条の条項を付加し、それに従い、条項番号を繰り下げる。
6. ITC 大会登録費 全会員の ITC 大会登録費は、大会準備委員会が予算をたて、ITC 役員会の承認を得たものであり、大会のどの行事でも参加する前に支払うものとする。
- 修正案 7 第 7 条 7.4.2. 大会費
置き換え
7.4.2. 各クラブは、ITC 常規に明記された大会協力費を支払う。
- 修正案 8 新常規第 7 条 クラブ 大会協力費
常規に新たな第 7 条の条項を付加し、それに従い、条項番号を繰り下げる。
7. クラブの大会協力費 各クラブは、各年度の 8 月 1 日までに、大会協力費として 18 NZ ドル (NZD18) を ITC 管理サービスに支払う。
- 修正案 9 第 7 条 7.5. 暫定年次会計報告
置き換え
7.5. 5 月 31 日までの暫定年次会計報告書 5 月 31 日までの詳細な暫定年次報告書が、6 月 30 日までに、会員専用の ITC ウェブサイトに掲示される。
- 修正案 10 第 8 条 8.2.1.g. 選出役員
削除
- 修正案 11 第 8 条 8.2.2.e. 選出役員
削除
- 修正案 12 第 9 条 9.3.4. 選挙は選択投票による
置き換え
9.3.4. 選挙は選択投票による。選択投票と集計の手順は、常規に記載されている通りである。
- 修正案 13 新常規 11 選挙の手順
新たに 11 の条項を付加し、それに従い、条項番号を繰り下げる。
11. 選挙の手順
11.1. 選択投票の手順
11.2. 集計の手順
(11.1. と 11.2. の文言は 2007 年版会則 9.3.4.a. および b. と同じなので、省略)
- 修正案 14 第 9 条 9.3.5 指名および選挙
挿入
9.3.5. 全ての投票用紙は、大会閉会時に、指名及び選挙委員会委員長により破棄される。

- 修正案 15 第9条 9.3.6. 指名および選挙
「郵便」の後に「および／またはEメール」を挿入する。
9.3.6. 緊急事態または組織による統制不能な状況で、大会開催が不可能な場合、選挙は郵便および／またはEメールで行われる。
- 修正案 16 第9条 9.6. 欠員
「1年以内の任期」を削除
9.6. 欠員 会長の役職が欠員となった場合、次期会長が会長となる。(役員会で4年間役職を務めたことという条件は適用されない。) その場合次期会長はITC役員会の2/3の投票で選出されるが、自動的に会長職を継ぐ権利はない。現職のディビジョン副会長は、次期会長になれる。(役員会で2年間役職を務めたという条件は適用されない。) 会長は次の大会で選出される。その他の欠員はITC役員会の2/3の投票で補充される。満了していない任期を補充した役員は、大会で再選される資格を持つ。
- 修正案 17 第11条 11.1. 隔年大会
挿入
11.1. 目的 ITCの所属クラブは、緊急事態や組織が統制不能な状況にならない限り、役員の選出、報告の受理、教育セッションの提供、コンテストの実施及び他の議事の処理を目的として、隔年大会を開催する。
- 修正案 19 第13条 13.1. 委員会の種類
削除して挿入
13.1. 委員会の種類 ITCの常任委員会は、資格認証、会則・決議、大会準備、寄付・遺贈、財務、指名・選挙、PREM(広報/新会員獲得/増設/会員)、儀典、スピーチコンテスト、トレーニング、ウェブサイト、ライティングコンテストの各委員会とする。
- 修正案 20 第13条 13.9. PREM
削除して挿入
13.9 PREM(広報、新会員獲得、増設、会員) PREM委員会は、組織全般の広報、新会員獲得、増設、会員の各活動の開発、促進、調整に助力する。この委員会は同時にITCの全てのレベルにおけるマーケティングプランを作成する。
- 修正案 21 第13条 13.12.5. トレーニング委員会
新たに第13条12.5.の条項を付加し、それに従い、条項番号を繰り下げる。
13.12.5. 全レベルにおいてメンタリングプログラムが展開されることを支援し、メンタリングに関する教育資料や情報を、確実に利用できるようにする。
- 修正案 25 第13条 13.3.1. 資格認証
削除して挿入
13.3.1. 資格認証プログラムの目標に従って資格認証過程を管理する。
- 修正案 26 第16条 16.9.4. PREMまたは増設
削除して挿入
16.9.4. PREMまたは増設 PREMまたは増設委員長は、ITC・PREM方針と手順マニュアルに示された通り、リージョン内の広報、新会員獲得、増設および会員活動の開発、促進、調整を管理することに責任をもつ。
- 修正案 28 第17条 17.7.1. 自由選択のカウンシルレベル
削除して挿入
17.7.1. 会合の回数は派遣員の決定による。
- 修正案 29 第17条 17.7.2. 自由選択のカウンシルレベル
削除
17.7.2. 投票方法はカウンシルの会員によって決定される。
- 修正案 31 第17条 17.5. 無所属カウンシル
新たに17.5.の条項を挿入し、それに従い、条項番号を繰り下げる。
17.5. 無所属カウンシル
17.5.a. カウンシルが地理的にリージョンと密接な接触が困難な場合、もしくはリージョンがない地域では、ITC役員会へ申請して、無所属カウンシルの資格を得ることができる。
17.5.b. 無所属カウンシルは、妥当な場合、リージョン会費を納入する必要はない。しかし、会員は必要な登録費を支払えば、どのリージョン大会にも出席できる。ただし、投票権はない。



生涯、学びの ITC

小林 令さん (東京)

インタビューアー 沖田道子 (ひろしま)

「お会いして、あれこれお尋ねしてみたいと思っても、ITCのクラブは全国に散らばっているから、なかなか実現できない」と思っておられる会員の皆さまに代わり、編集スタッフがインタビューいたしました。今回は第13期日本リージョン会長の小林 令さんです。

—小林さんの生い立ちをお聞かせください。

父の勤務の関係で私は仙台で生まれ育ちました。旧教育制度の女専で栄養科学を専攻後、東北大学化学研究室で学んでいた時に函館出身の夫と会い、なぜか結ばれました。結婚までの私の本籍地は和歌山県ですから、私たちの子どもや孫には日本列島の北から南までのDNAが入っているということでしょうか。

—ITC との出会いとは？

1955年から58年まで夫の留学に伴い米国ピッツバーグに在住し、そこで日本で最初に誕生した名古屋クラブの設立当時の会員だった小原様とお会いしました。その小原様のお誘いでピッツバーグのトーストミストレスクラブの会合に数回ゲストとして出席しました。ただし、この時は、特に何を学ぶクラブなのかあまり説明も受けず、20人くらいの会合で、代わる代わる壇上に立って話をし、それがどういう意味なのかもよく理解できず、その後は一緒に昼食（手作りのものを持ち寄る）を楽しんで帰るという状態でした。ここでは単にトーストミストレスクラブという名称だけが記憶に残った程度ですが、これが私とITCとの不思議な“縁”の1ページでした。

—東京クラブはとても活発なクラブとお聞きしています。設立の経過は？

1973年、阪神クラブ設立に尽力されたステグマイヤー様、星野富士子様が中心となり名古屋・阪神クラブの元会員で東京に移転された方々やその友人などに声を掛けて東京トーストミストレスクラブ設立準備会が発足し、私もその一人として参加しました。以来1977年のチャーター申請まで4年間は、毎月1回、日本人会員20名、外国籍の会員10名、言語はバイリンガル、などの仮規約のまま、本部への申請もせず東京トーストミストレスクラブと云う名前だけで会合を持ち続けていました。この時代は、ビジネスの取り扱いも議事運営手順などはほとんど無視、国際色豊かなトークが聞けることだけを楽しみに、多少疑問を感じつつも毎月の例会に通っていました。しかしこのようなことは許されるはずもなく、国際役員会からトーストミストレスの名称を剥奪するとの強いおしかりを受け、直ちに正式申請の手続きに入り、ITCの会員クラブとして認証されました。

議事法に開眼したのは、77年のチャーター後4期目の1980年度、オーストラリア



人のトンプソンさんという方が会長に就任された時です。私が副会長を受け、7月末に次期役員会を開催、そこで会合アジェンダの議事手順を踏んだ基本形式や役員会やクラブ運営に関する議事法の手がかりを初めて教えられました。ただし、このトンプソン会長は就任まもなく急に帰国となり、この年度の学びを期待しただけに大変残念なことでした。

東京クラブが正式に認証された1977年6月当時は、日本では名古屋、阪神、関西、神戸、葵の5クラブで一つのカウンシルという編成でした。名古屋の先輩会員や阪神のジーン・ジョイス委員長の下でトーストミストレスクラブの組織の構造、その中に貫かれている考え方や運営方法など、この組織の魅力を体で感じた日々でした。

—ITCが良い組織であり自分にとって大切なものと思われるゆえんは？

私は今でも人前で話をするのは好きではありませんし、できれば避けたいと思っています。しかし、ITCの基本理念“自分の意思や思考を正確な言葉にして相手に明確に伝えること、更に相手の言葉を受け取るときはその背後にある心情も共に感じて理解する”というコミュニケーションのあり方を学ぶことは“社会に生きる人”として当然のことであり、またそのゴールは大変奥深いものと思います。

現代社会で、特に若者の言葉の乱れを痛感する時、ITCのモットー“To love our language and use it with grace ……”が頭をよぎります。私自身、長いITC暦の中では、自分の中であいまいに感じていたものを整理し思考を深め、言葉として表現する習慣や訓練を自然に学ばせていただいていたと感じていますが、これで卒業ということではなく、まだまだ道半ばというところです。議事法もこれは単に会合や討議の約束事とはいえませんが、学べばその奥深さを知り、興味は尽きません。

—最後に ITC の今後についてどのように考えておられますか。

社会の変革は想像以上にその速度も形態も変わっていることは確実です。ITCが現代社会にマッチして生き延びるために、いかに変革し対応していくべきか、私には正確な答えは出てきません。けれども、ITCの根本理念である「人対人」のコミュニケーションの大切さは、現代でも変わらないものと信じています。

40年近くも会員として続けられたのは何故なのか振り返りますと、やはり共に学び続ける中で、持ち上がった問題を共に考え、本音で語り合い、思考を深め合う、かけがえのない、多くの友人たちに恵まれたことが何より大きいと、改めて感謝しています。

楽しみながら学ぶ会合と例会 カウンスル No. 1



会長

原 誠子

今期のテーマ 集いて ハーモニー

No.1は第37期を迎えた。現在ではITが進みとても便利になったがこの便利さは、さらに発展的に利用し、年10回のクラブ例会、3回のカウンスル会合そしてリージョン大会。これらに参加することによりクラブや地域の壁を越えてコミュニケーションをする。カウンスル会合では楽しかったね！勉強になったね！と言っていただけるようなプログラムづくりに心がけたい。日本で初めて生まれたクラブ、名古屋クラブの60周年記念例会には多くのメンバーが一堂に会し、すばらしい「ハーモニー」が生まれることを望んでいます。新入会員の増加は勿論、現会員の退会を防ぎたいというのが、今期の目標であります。

カウンスル会合

	月日(曜日) 時間	会 場	プログラム(予定)
第1回	2009年11月10日(火) 11時00分～15時00分	名鉄グランドホテル TEL052-582-2211	高野孝子氏講演
第2回	2010年4月1日(木) 11時00分～15時00分		スピーチコンテスト
第3回	2010年7月7日(水) 11時00分～15時00分		プログラム 未定

所属クラブ 12クラブ

クラブ名 認証番号	正会員数 使用言語	テーマ	会長氏名	曜日・時間 例 会 場
名古屋 273	25 日本語	再びのスタートライン	西村みつ子	第2月曜日13時00分 名古屋観光ホテル
葵 2565	17 日本語	いぶし銀のように 個性を生かして	梶浦清子	第4水曜日10時00分 ルブラ王山
錦 2669	28 日本語	役に立つ	石井弘子	第2火曜日10時30分 名古屋観光ホテル
栄 3099	10 日本語	潤うところ 潤う知的好奇心	濱田寛子	第3金曜日13時00分 ルブラ王山
名城 3192	21 日本語	初心に戻って	加藤裕子	第2金曜日10時30分 ルブラ王山
東山 3323	21 日本語	時を刻み 今一步前に	上野貴久子	第3木曜日13時00分 ルブラ王山
浜松 3379	10 日本語	One for all. All for one.	太田雅子	第3月曜日13時30分 浜松名鉄ホテル
飛騨高山 3454	23 日本語	気持ち新たに	松井多美子	第2月曜日13時30分 ひだホテルプラザ3F
ぎふ 3516	5 日本語	倦まず 弛まず	寺本容子	第1火曜日10時30分 岐阜少年少女合唱団会館
千種 3530	10 英語	Let's Arouse our Curiosity	鈴木宏子	第3土曜日14時00分 ニューコーポ千種橋809
刈谷 3546	11 日本語	聞いて・利いて ハーモニー パート2	塚本しが子	第3火曜日13時30分 刈谷市民会館
岡崎 3658	21 日本語	Don't Worry! Be Happy! あなたにありがとう	天野祥子	第2木曜日13時00分 岡崎ニューグランドホテル

楽しみながら学ぶ会合と例会 カウンスル No. 2



会長
辻 良子

今期のテーマ 「凜と。」

私たちは年々年を重ねてまいります、背をただして、凛として生きていきたいと願い、今年年間テーマ「凛と。」と致しました。4人に1人の高齢化時代に入り、右を向いても、左を向いても 中高年ばかり。若者や子どもたちにはどのように写るのでしょうか？ 凛として生きる鑑となっていきたいものです。皆さんが凛として明るく、愉しく集えるような ITC にと私は願っています。今期カウンスル No.2 は、会員の叡智を生かし、ニューズレターはみんなで協力し合い手作りとなりました。愉しく集う一環でもあります。前期立ち上げられたウェブサイトを引き継いで掲載しております。ニューズレターともども、楽しみながらご覧ください。

カウンスル会合

	月日(曜日) 時間	会 場	プログラム(予定)
第1回	2009年11月4日(水) 11時00分～15時00分	神戸ポートピアホテル TEL078-302-1111	講演：岡田彰布オリックス監督 前阪神タイガース監督
第2回	2010年4月7日(水) 11時00分～15時00分		スピーチコンテスト
第3回	2010年6月25日(金) 11時00分～15時00分		役員就任式 お楽しみプログラム

所属クラブ 9クラブ

クラブ名 認証番号	正会員数 使用言語	テーマ	会長氏名	曜日・時間 例 会 場
阪神 1594	21 日・英	温故 前進 Learn from the past, and Step forward	原太千子	第1金曜日 13時30分 山村サロン (12・4月他会場)
神戸 2173	9 英語	Back to the Beginning! 初心に戻って	深澤佳代子	第2土曜日 13時30分 神戸生活創造センター
イースト神戸 2673	10 英語	Let's set out on a Voyage Around the World!	藤木桂子	第3木曜日 10時30分 東灘区民センター8F
甲南 3077	18 日本語	楽 RAKU	太田容子	第4木曜日 10時 芦屋市民センター改修工事 のため9月～3月まで 平生記念館(甲南学園セミ ナーハウス)
六甲 3228	15 日本語	笑顔と新風に言葉を添えて・・・	喜多邦子	第3土曜日 14時 ひょうごボランタリープラ ザ セミナー室
宝塚 3360	13 日本語	明るく・やさしく・にこやかに	小山一子	第2火曜日 13時30分 宝塚市立男女共同参画 センター
御影 3464	12 日本語	20歳を寿ぐ	高島季子	第2火曜日 10時 西宮市立夙川公民館
三田 3534	13 日本語	知・情・意	福田田鶴子	第1土曜日 10時30分 三田市まちづくり協働 センター
愛媛 3697	13 日本語	向き合う	大城久希子	第4火曜 13時30分 コムズ

楽しみながら学ぶ会合と例会 カウンスル No. 3



会長
長縄智恵子

今期のテーマ わくわく、ドキドキ、感動するところ

クラブが30年、20年と歴史を経てまいりますと、社会の変化と共にクラブの活性化が求められます。

仕事を持つ主婦も増えてまいりました。ITCの魅力を伝えるPREM活動も難しい時期に来ております。

- ①会員の皆様お一人おひとりが入会時に持たれた‘わくわく、ドキドキ、感動するところ’でプログラムの企画、例会に出席をする。
- ②サービスビューローを通じて、少数会員クラブのサポート、クラブ間の交流を豊かに。
- ③ITCの未来のため、会員がITCで培った知識を叡智に、会員の育成の実践を目指す。
この3つの願いをこめまして、この一年をクラブの皆さまとご一緒に歩みたいと思います。

カウンスル会合

	月日(曜日) 時間	会 場	プログラム(予定)
第1回	2009年10月30日(金) 11時00分～15時00分	神戸ポートピアホテル TEL078-302-1111	講演: 悩み解消、話し方トレーニング 講演者: 青木和雄 元毎日放送チーフアナウンサー
第2回	2010年3月31日(水) 11時00分～15時00分		スピーチコンテスト
第3回	2010年6月30日(水) 11時00分～15時00分		役員就任式 ワークショップ 「プロ・コン 賛否両論」

所属クラブ 10クラブ

クラブ名 認証番号	正会員数 使用言語	テーマ	会長氏名	曜日・時間 例 会 場
関西 2566	23(重複1) 日本語	新たな視点と柔軟性	井出智美	第2水曜日 13:00 ウェスティンホテル大阪
芦屋 2755	9 日本語	三つのWA“輪・和・話” を大切に	山中恵枝	第4水曜日 13:30 アーバン銀行 芦屋支店
西宮 3160	16 日本語	知的 快感	中来田慶子	第1火曜日 13:30 ブレラ西宮4階
姫路 3292	28 日本語	愛と勇気をもって	中島薫子	第2火曜日 13:00 兵庫信用金庫本店8階
尼崎 3337	10 日本語	今できること	山田昭乃	第4火曜日 13:00 尼崎市立小田公民館
舞子 3341	8 日本語	「かきくけこ」の 一年	西村尋子	第2月曜日 13:30 シーサイドホテル 舞子ビラ神戸
しらさぎ 3493	25 日本語	Living now proudly 今でも、 そしてこれからも	岩元智子	第3火曜日 13:00 イーグレひめじ
ポート神戸 3590	12 日本語	『新しい出会いを求めて』 一友情のWAをひろげようー	中井恵俐子	第2金曜日 13:00 神戸ポートピアホテル
淡路 3678	20(重複1) 日本語	蓮の花のように	高山敦子	第3木曜日 13:00 しづのおだまき館
クリスタル神戸 4002	22(重複19) 英語	コミュニケーションを学ぶ	阿藤知津子	第4金曜日 13:30 神戸クリスタルタワー 5F

楽しみながら学ぶ会合と例会 カウンスル No. 4



会長名
早津聰子

今期のテーマ チャンスを生かしてホップ・ステップ・ジャンプ

第22期会長を引き受けるにあたって、このチャンスに私自身が何事にもチャレンジしステップアップしたいと願い、このテーマにしました。今期は209名でスタートです。

前年スタート時より会員が19名減となりました。会員数2名のクラブの存続が重要課題になっています。長期目標は「コミュニケーション能力を磨く」です。これは前年度のテーマ「コミュニケーションを大切に」を努力してきましたが、それを生かしてさらに磨きをかけたいと願っています。短期目標は「会員の増強」「新入会員の定着」「クラブ組織の充実」です。会員増のために何をすべきか、リージョンの皆さまの知恵をお借りして努力したいと思います。今期どうぞよろしくご協力ください。

カウンスル会合

	月日(曜日) 時間	会 場	プログラム(予定)
第1回	2009年11月10日(火) 11時00分～15時30分	ホテルグランヴィア広島 TEL082-262-1111	ワークショップ 「心をつなぐ」
第2回	2010年3月4日(木) 11時00分～15時30分	ホテルオークラ岡山 TEL086-273-7311	スピーチコンテスト
第3回	2010年6月30日(水) 11時00分～15時30分	グランド・ハイアット・福岡 TEL092-282-1234	役員就任式 PREMの力

所属クラブ 12クラブ

クラブ名 認証番号	正会員数 使用言語	テーマ	会長氏名	曜日・時間 例 会 場
九州 2674	11 日本語	本質を知り、学びあう	土田美奈子	第3金曜日 10時30分 ホテルニューツルタ
ひろしま 3171	26 日本語	「豊かな人間性」 積極的に・柔軟に実践を!	前田利子	第3木曜日 13時15分 広島アンデルセン
福山 3327	20 日本語	すてきな刺激	山崎鈴子	第3金曜日 13時30分 福山ニューキャッスルホテル
岡山 3331	29 日本語	爽やかな風を いっぱい帆にうけて	熊代百合子	第2木曜日 13時00分 ホテルオークラ岡山
安芸 3406	15(重複5) 日本語	トライ&チェンジ	青木和恵	第2金曜日 13時30分 広島アンデルセン
大分 3417	11 日本語	こころをつなぐ コミュニケーション	三井洋子	第3土曜日 13時30分 アイネス(男女共同参画プラザ)
岡山あくら 3484	22 日本語	継続は力 一常にチャレンジをー	仁熊史枝	第3水曜日 13時00分 ホテルオークラ岡山
瀬戸内 3545	23 日本語	トーク 1-9 Setouchi ^{トビラ} 扉をあけて	板谷洋子	第2金曜日 14時00分 福山ニューキャッスルホテル
福岡 3611	24 日本語	バランス感覚を磨く	中垣律子	第4土曜日 13時30分 タカラホテル福岡
徳山 3632	2 日本語	ITCで学ぶ	松下法恵	未定
尾道 3644	16(重複1) 日本語	可能性への1ステップ	城間早苗	第3火曜日 13時30分 尾道市総合福祉センター
ひがし広島 4013	16 日本語	挑戦・そしてステップアップ	大嶋ヒトミ	第4金曜日 13時30分 東広島商工会議所会館

楽しみながら学ぶ会合と例会 カウンスル No. 5



会長
小八木利子

今期のテーマ ときめきを

カウンスルNo.5 第22期は、テーマを「ときめきを」と致しました。思いがけない可能性と出合うような「会員が輝いて学ぶプログラム作り」を目指し、学び、試み、実践してまいりたいと思います。五感を研ぎ澄ましてときめくことを忘れない暮らし、これはITCの自己啓発の原点です。

活気あるNo.5ですが、前期20周年を終えた年輪を踏まえ、クラブ間の交流奨励、サービスビューローによるサポートなど、いきいきと活動できるサジェスションを送れるカウンスルでありたいと願っています。

うれしいことに、10月に徳島地区に新しいお仲間を迎えます。フレッシュな風を受け、共に成長し、豊かなコミュニケーション、友情を深める良い機会となるでしょう。

個性豊かな13クラブからなるカウンスルNo.5、互いを尊重し研鑽する心ときめく舞台となるよう努力する所存です。

カウンスル会合

	月日(曜日) 時間	会 場	プログラム(予定)
第1回	2009年11月24日(火) 11時00分～15時15分	ホテル日航大阪32階 「ジェットストリーム」 TEL06-6244-1111	ワークショップ 「伝える技術：あなたもプレゼンター」 —4つのプレゼンテーション—
第2回	2010年3月30日(火) 11時00分～15時00分		スピーチコンテスト
第3回	2010年6月23日(水) 11時00分～15時15分		役員就任式 講演、リサーチスピーチ

所属クラブ 13クラブ

クラブ名 認証番号	正会員数 使用言語	テーマ	会長氏名	曜日・時間 例 会 場
大阪 2754	24 日本語	継続は力	早川住江	第3月曜日 13時30分 アークホテル
北大阪 3113	13 日本語	豊かな心	松岡重子	第2火曜日 13時 ウェスティンホテル大阪
豊中 3264	11 日本語	実践 一心ひとつに	松本 敬	第3水曜日 13時30分 千里阪急ホテル
南大阪 3356	19 日本語	今日も楽しい会話から 一心ひびかせてー	榊井佑子	第4月曜日 13時30分 ウェスティンホテル大阪
城北 3359	20(重複1) 日本語	いつもほ・えみ 心に化粧を	中井弘子	第2水曜日 13時30分 守口ロイヤルバインズホテル
梅田 3395	14 英語	Partnership	堺 広子	第3火曜日 10時30分 大阪市中央公会堂
千里 3455	23 日本語	共に歩む	堤 其美子	第3金曜日 14時 千里阪急ホテル
帝塚山 3487	13 日本語	一語一恵	下村美佐子	第3木曜日 13時30分 ホテルアウイーナ大阪
堺東 3509	22(重複1) 日本語	和らぎのこころ	坂本英子	第1火曜日 13時30分 ホテルサンルート関空
徳島 3597	28 日本語	感動そして感謝	武田恭代	第3火曜日 13時30分 阿波観光ホテル
阿波 3657	30(賜暇1) 日本語	子どものように	寺尾玲子	第2金曜日 13時30分 阿波観光ホテル
紀州 3698	10 日本語	確かな一歩	佐藤華子	第4木曜日 14時 アパローム紀の国
眉山 4023	30(重複3) 日本語	心ゆたかに輝いて!	平田真弓	第4水曜日 13時30分 阿波観光ホテル

楽しみながら学ぶ会合と例会 カウンスル No. 6



会長名
井上暁子

今期のテーマ “型に学び 形にあそぶ”

No.6は22期目を迎え会員は議事法やマニュアルの基礎、基本をしっかりと学び、実践、自己啓発を目指しております。基本を踏まえた上に、自在に心をあそばせ、創造力を駆使し、自分のすがた形を表現してこそ、自己啓発が花開き、そこにITCのバランスのとれた基本理念があると思っています。

No.6はクラブ数が8となり、会員数が大幅に減少、それに伴う会費収入の減少、やむなく会費値上げの常規修正案の提出など、スタートから問題を抱えています。カウンスル運営の刷新を図り、会員増強はもちろんのこと、いかにこれ以上のクラブ数減少を回避するか、解決の糸口を探るのが、会員一人ひとりの課題であり、共に地道な努力を重ねてゆきたく思います。

カウンスル会合

	月日(曜日) 時間	会 場	プログラム(予定)
第1回	2009年11月4日(水) 11時00分～15時00分	京都タワーホテル TEL075-361-3222	全員参加 コンセンサス 集団意思決定ゲーム
第2回	2010年4月6日(火) 11時00分～15時00分		スピーチコンテスト
第3回	2010年6月29日(火) 11時00分～15時00分		役員就任式

所属クラブ 8クラブ

クラブ名 認証番号	正会員数 使用言語	テーマ	会長氏名	曜日・時間 例 会 場
京都 2824	24 日本語	魅力発信	川島啓子	第3金曜日13時30分 京都タワーホテル
平安 2914	19 日本語	無一物中無盡蔵	大藪京子	第3木曜日10時30分 同志社新島会館
奈良 3154	15 日本語	軽やかに挑戦	中野知子	第4水曜日13時 奈良ロイヤルホテル ※12・5月第3水曜日
北摂 3394	11 英語	Walking Together!	竹田清子	第2木曜日10時30分 高槻市立生涯学習センター ※2月第3木曜日
サタデー 3423	11 日本語	共に学びステップアップ	中尾慈子	第3土曜日15時30分 同志社新島会館 ※6月第2土曜日
琵琶湖 3528	14 日本語	気持ち新たに	中山洋子	第4金曜日11時 大津プリンスホテル ※12月第3金曜日
奈良若草 3666	8 日本語	ここからの一歩	黒木徂子	第2水曜日13時 奈良ロイヤルホテル
金沢 3690	9 日本語	華ある花になるために	井口紀美	第4火曜日13時30分 金沢ニューグランドホテル ※12月第3火曜日

楽しみながら学ぶ会合と例会 カウンスル No.7



会長
野村恵子

今期のテーマ 実践 —心をあわせて飛躍の時—

今期カウンスル No.7 は 22 期を迎え、初めてリージョン年次大会を開催することになります。

会員減少が重要な問題となっている昨今、地域社会へ ITC を広く認知していただくチャンスでもあります。そのためにも、今までに継承し、学んできた多くの知識や経験を生かしながら会員の皆様と心を合わせて実践してまいりたいと思います。

会員お 1 人、おひとりの知恵をお借りして、リージョン方針に基づいたプログラム・教育を実践していくことにより、新たな知恵や工夫も生まれ、個人の成長と同時にカウンスル No.7 のさらなる飛躍につなげていきたいものと思っています。

カウンスル会合

	月日(曜日) 時間	会 場	プログラム(予定)
第1回	2009年11月13日(金) 11時00分～15時15分	ホテルニューオータニ鳥取 TEL0857-23-1111	講演 パネルディスカッション
第2回	2010年4月2日(金) 11時00分～15時15分	大和会館 TEL0859-34-6688	スピーチコンテスト
第3回	2010年6月22日(火) 11時00分～15時15分	倉吉シティホテル TEL0858-26-6111	役員就任式 ワークショップ CMT

所属クラブ 7クラブ

クラブ名 認証番号	正会員数 使用言語	テーマ	会長氏名	曜日・時間 例 会 場
鳥取 2990	27 日本語	閃き-感性を磨く-	秋田泰恵	第4金曜日10時00分 ホテルニューオータニ鳥取
米子 3268	19 日本語	広い視野で豊かなコミュニケーション	浜田一恵	第2水曜日10時00分 米子全日空ホテル
松江 3358	20 日本語	はじめてみる -知ることを学ぶこと-	郷原明子	第3木曜日10時30分 ホテル一畑
倉吉 3400	32 日本語	初心-新たな扉を開く	明島智保子	第2火曜日10時00分 倉吉シティホテル
米子マNDER 3436	22 日本語	継続は力なり ~楽しく、仲良く、これからも~	仁科悦子	第2月曜日13時00分 大和会館
出雲 3492	28 日本語	心...シンプル・ユニーク・ ハーモニー	山口史子	第4月曜日13時00分 出雲ロイヤルホテル
とっとり砂丘 3551	18 日本語	たゆまぬ努力...新たな 進歩へ	川口眞佐子	第3火曜日10時00分 ホテルニューオータニ鳥取

楽しみながら学ぶ会合と例会 カウンスル No. 8



会長
岩佐圭子

今期のテーマ 前向きに考え、行動しよう

今期のテーマを「前向きに考え、行動しよう」としました。将来に向かって発展するために、また、充実したプログラムを実行するためには、前向き志向の積極性しかないと考えます。カウンスル No.8 は今期 20 周年を迎えます。これを機に、カウンスルの組織と活動の基本を見直し、リージョンとクラブをつなぐカウンスルとしての役割を十分果たせるように工夫と努力を重ねなければと決心しています。こうした実践から、知識が積み重なり、叡智を培うことにつながるのでしょうか。リージョンのテーマも念頭に入れて、カウンスル活動に励みたいと思います。

カウンスル会合

	月日(曜日) 時間	会 場	プログラム(予定)
第1回	2009年10月27日(火) 10時30分～16時00分	シーサイドホテル芝弥生会館 TEL03-3434-6841	20周年記念会合
第2回	2010年4月4日(日) 10時30分～16時00分	ホテルフロラシオン青山 TEL03-3403-1541	スピーチコンテスト

所属クラブ 12クラブ

クラブ名 認証番号	正会員数 使用言語	テーマ	会長氏名	曜日・時間 例 会 場
東京 2668	26 日本語	経験の恵み	佐野千賀子	第3火曜日11時30分 NHK 青山荘
筑波 3150	12 英語	"Brush Up" POWERtalk Skill	寺崎 環	第2火曜日13時 春日公民館
青山 3151	10 日本語	協力	高尾浩江	第4火曜日13時30分 東京ウィメンズプラザ
柏 3363	18 英語	相互援助	信澤昭子	第3金曜日10時 柏市勤労会館・中央公民館
サンデー 3403	13 英語	Extend Powertalk to our Community	小管あけみ	第3日曜日13時30分 柏市勤労会
東葛 3418	8 日本語	ITC を楽しもう	城戸幸子	第2水曜日10時 柏市勤労会館
蕪崎 3529	7 日本語	わげんあいこ 和顔愛語	清水享子	第3木曜日19時 蕪崎市民会館
彩玉 3585	14 日本語	変化を楽しむ	江利川富江	第3水曜日13時30分 熊谷会館
横浜 3591	5 日本語	徳は孤ならず、必ず隣有り	野々垣淳子	第2木曜日13時 ワークピア横浜
盛岡 3622	14 日本語	明るく 楽しく かつ前向きに	平野ユキ子	第2木曜日18時 グランドホテルアネックス 2F 会議室
アクア千葉 3662	11 日本語	新たな一歩のために	三枝道子	第2火曜日13時30分 千葉市生涯学習センター
東京セントラル 3691	12 英語	"ITC Work" stimulates You!	近藤久美子	第4金曜日10時30分 KRR ホテル東京

ITC 日本リージョン 第27期会計決算報告書

The 27th Japan Region ITC 2008.8.1-2009.7.31

収入の部 Revenues

(単位：円)

科目	Subject	予算額 Budget	決算額 Actual	差異 Difference	備考 Remarks
前期繰越金	Balance Brought Forward	4,429,831	4,429,831	0	
年会費	Dues	7,005,000	7,005,000	0	5,000円×1401名
新入会員	New Members	130,000	145,832	△ 15,832	月割会費×46名
受取利息・雑収入	Interest & Miscellaneous Income	5,000	9,851	△ 4,851	利息、松山クラブ精算金
合計	Total	11,569,831	11,590,514	△ 20,683	

支出の部 Expenditures

科目	Subject	予算額 Budget	決算額 Actual	差異 Difference	備考 Remarks
会報印刷費・送料	Bulletin Printing & Postages	1,750,000	1,636,874	113,126	3回発行
事務局運営費	Office Operation Expenses	3,500,000	2,259,614	1,240,386	
交通費	Transportation				
選出役員	Officers	600,000	518,070	81,930	役員会及び公務
任命役員	Appointed Officers	40,000	9,520	30,480	役員会及び公務
委員会補助	Committee Members Subsidy	550,000	739,805	△ 189,805	80%補助、増設活動あり
役員活動費	Officers' Activity Expenses				
会長	President	60,000	55,280	4,720	
次期会長	President-Elect	15,000	15,000	0	
第一副会長	1st Vice President	15,000	14,900	100	
第二副会長	2nd Vice President	15,000	12,395	2,605	
書記	Secretary	35,000	14,866	20,134	
会計	Treasurer	30,000	24,445	5,555	
CLO	Communication Liaison Officer	5,000	1,020	3,980	
議会法規役員	Parliamentarian	10,000	8,480	1,520	
編集者	Editor	40,000	39,280	720	
役員会会場費	Meeting Room	50,000	0	50,000	
常任委員会活動費	Standing Committee Expenses				
資格認証	Accreditation	15,000	7,000	8,000	
会計監査	Audit	13,000	840	12,160	
予算・財務	Budget & Finance	2,000	745	1,255	
会則・決議	Bylaws & Resolutions	15,000	5,111	9,889	
大会準備	Conference Planning	2,000,000	1,274,171	725,829	
選挙	Election	5,000	1,990	3,010	
国際交流	International Relations	5,000	4,920	80	
PREM	PREM	100,000	125,251	△ 25,251	増設活動あり
指名	Nominating	15,000	13,300	1,700	
プログラム・教育	Program & Education	60,000	59,569	431	
スピーチコンテスト	Speech Contest	130,000	140,264	△ 10,264	カップ (@30,000 x 2)
特別委員会活動費	Special Committee Expenses				
通信書記	Corresponding Secretary	1,000	0	1,000	
派遣員資格確認	Credentials	5,000	2,672	2,328	
寄付・遺贈	Donations & Bequests	3,000	2,190	810	
組織運営研究	Study of Organization Management	5,000	2,150	2,850	
監修者	Editorial Supervision	15,000	15,000	0	
慶弔費	Greetings & Condolences	20,000	0	20,000	
接待費	Hospitality	5,000	0	5,000	
役員就任式費	Installation of Officers	15,000	15,000	0	
CMT出席者補助	CMT Attendance subsidy	400,000	387,190	12,810	CMT出席者交通費補助
世界大会出席者補助	ITC Confe. Attend. subsidy	120,000	90,000	30,000	3名 (@30,000)
物品購入費	Purchase of Materials	10,000	5,600	4,400	
雑費	Miscellaneous Expenses	20,000	0	20,000	
小計	Sub Total	9,694,000	7,502,512	2,191,488	
予備費	Reserve Fund	1,875,831	0	1,875,831	
次期繰越金	Balance Carried Forward	0	4,088,002	△ 4,088,002	
合計	Total	11,569,831	11,590,514	△ 20,683	

2009年8月1日

第27期日本リージョン会計 堤 其美子

2009年8月21日

監査結果適切かつ正確であることを認めます。

日本リージョン会計監査委員会 委員

小河フク子
黒木律子

ITC 日本リージョン第27回年次大会決算報告書

収入の部

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差異	備考
大会準備金	2,000,000	2,000,000	0	日本リージョン会計より
	500,000	500,000	0	日本リージョン基金より
登録費	5,674,000	5,674,000	0	会員@8,000×698名 ゲスト@2,500×36名
大会協力金	1,454,000	1,452,000	2,000	@2,000×726名
食事費	8,556,000	9,278,000	△ 722,000	6/28' @3,000×127名(昼食) 6/29,30' @3,000×801名(昼食) @10,000×511名(晚餐会) @8,000×150名(ウエルカムパーティー) @8,000×23名(観光)
雑収入	0	11,292	△ 11,292	京都市長よりお祝金、利息
合計	18,184,000	18,915,292	△ 731,292	

支出の部

費目	予算額	決算額	差異	備考
大会準備委員長	60,000	59,587	413	
大会会計	13,000	10,575	2,425	
登録	10,000	8,304	1,696	
食事	10,000	10,000	0	
宿泊	5,000	5,000	0	
会場備品	10,000	4,950	5,050	
デコレーション	50,000	44,631	5,369	
名札・リボン・キット	150,000	122,273	27,727	
儀典	15,000	18,080	△ 3,080	
VIP接待	10,000	8,800	1,200	
ホスピタリティ	50,000	49,880	120	
活動費				
インフォメーション	3,000	4,610	△ 1,610	
ページ	10,000	11,498	△ 1,498	
写真	60,000	60,000	0	
広報	10,000	11,760	△ 1,760	
観光	40,000	38,570	1,430	
受付	3,000	3,860	△ 860	
エンターテイメント	300,000	300,000	0	
プログラム印刷	600,000	592,000	8,000	
スピーチコンテスト	230,000	169,055	60,945	
ワークショップ	800,000	800,000	0	
VIP費用	250,000	180,565	69,435	
借室料	4,500,000	4,418,382	81,618	
設備費	1,200,000	1,033,200	166,800	
食事費	9,300,000	9,488,268	△ 188,268	ウエルカムパーティー、観光食事費含む
雑費	350,000	235,615	114,385	
予備費	145,000	0	145,000	
支出合計	18,184,000	17,689,463	494,537	
剰余金合計	0	1,225,829	△ 1,225,829	収入合計-支出合計
大会準備金		500,000		日本リージョン基金へ
剰余金		725,829		日本リージョン会計に繰入れ
合計	18,184,000	18,915,292	△ 731,292	

2009年7月31日

第27回年次大会会計

八田周子

端美智子

2009年8月26日

監査の結果適切かつ正確であることを認めます。

日本リージョン会計監査委員会 委員

小河フク子

委員

黒木組子



ITC第27期日本リージョン事務局 決算書
(2008年8月1日～2009年7月31日)

収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異 (予算額-決算額)	備 考
事務局運営費	3,500,000	3,500,000	0	
使用料(事務所・コピー機)	1,000		1,000	
資料売上	2,000,000	2,563,900	△ 563,900	
雑収入	1,000	28,041	△ 27,041	利息・スカーフ止他
合計	5,502,000	6,091,941	△ 589,941	

支出の部



科 目	予算額	決算額	差異 (予算額-決算額)	備 考
事務局経費				
事務所家賃	1,440,000	1,436,400	3,600	共益費含む
人件費	1,030,000	1,004,000	26,000	
光熱費	80,000	62,933	17,067	
コンピュータ管理費	50,000	18,524	31,476	ドメイン代含
レンタルサーバー費	40,000	37,800	2,200	
プロバイダ費	20,000	19,401	599	
電話料	60,000	51,952	8,048	インターネット回線料含
設備・備品費	300,000	185,010	114,990	事務用品を含む
活動費				
事務局長	10,000	8,045	1,955	
コンピュータ部	7,000	5,000	2,000	
出版部	10,000	7,000	3,000	
資料部	7,000	5,000	2,000	
翻訳部	15,000	13,000	2,000	
経理部	7,000	5,000	2,000	
翻訳費	100,000	0	100,000	
交通費	200,000	153,220	46,780	
資料印刷・仕入れ代	1,900,000	1,750,670	149,330	
資料運搬費	100,000	63,957	36,043	
通信費・送料	30,000	7,430	22,570	
雑費	30,000	17,213	12,787	
予備費	66,000	0	66,000	
支出合計	5,502,000	4,851,555	650,445	
剰余金	0	1,240,386	△ 1,240,386	
合計	5,502,000	6,091,941	△ 589,941	

2009年7月31日

日本リージョン 事務局長 酢谷道子
経理部長 海老原あかね

2009年8月21日

監査の結果適切かつ正確であることを認めます。

日本リージョン会計監査委員会 委員 小川フク子 
委員 黒木組子 

ITC日本リージョン第27期会計財産目録
2009年7月31日

〔日本リージョン会計〕		ゆうちょ銀行	(単位:円)
科 目		金 額	備 考
資産の部			
	ゆうちょ預金	9,728,002	
	預け金	1,000,000	リージョン事務所家賃他
	合 計	10,728,002	
負債の部			
	預り金	6,640,000	第28期年会費
差し引き正味財産		4,088,002	次期繰越金

ITC日本リージョン第27期資産報告書

〔日本リージョン基金〕		三菱東京UFJ銀行	(単位:円)
科 目		金 額	備 考
収入の部			
	前期繰越金	6,810,103	
	受取利息	11,518	事務局積立金の利息を含む
	合 計	6,821,621	
支出の部			
	次期繰越金	6,821,621	
	合 計	6,821,621	

〔事務局積立金〕		三菱東京UFJ銀行	(単位:円)
科 目		金 額	備 考
収入の部			
	前期繰越金	1,100,428	
	合 計	1,100,428	
支出の部			
	次期繰越金	1,100,428	
	合 計	1,100,428	

【その他の資産】

科 目	金 額	備 考
電話加入権	5,000	事務局電話
資料棚卸資産	1,107,840	事務局扱い

2009年8月1日

第27期日本リージョン会計 堤 其美子

2009年8月21日

監査の結果適切かつ正確であることを認めます。

日本リージョン会計監査委員会 委員 小 河 フ ク 子

委員 黒 木 伸 子



ITC 日本リージョン第 28 期会計予算書
The 28th Japan Region Budget 2009.8.1 - 2010.7.31

収入の部 Revenues

(単位：円)

科 目 Subject	予算額 Budget	備 考 Remarks
前期繰越金 Balance Brought Forward	4,088,002	
年 会 費 Dues	6,640,000	5,000 円 × 1328 名
新 入 会 員 New Members	250,000	月割会費 × 30 名 + 新クラブ 27 名
翻訳援助金 subsidy for Translation Cost	180,000	ITC(国際)からの翻訳援助金 NZD3,000
受取利息・雑収入 Interest & Miscellaneous Income	5,000	
合 計 Total	11,163,002	

支出の部 Expenditures

科 目 Subject	予算額 Budget	備 考 Remarks
会報印刷費・送料 Bulletin Printing & Postages	1,750,000	3 回発行
事務局運営費 Office Operation Expenses	3,400,000	
交 通 費 Transportation		
選出役員 Officers	640,000	役員会及び公務 70%
任命役員 Appointed Officers	110,000	役員会及び公務 70%
委員会補助 Committee Members Subsidy	1,000,000	委員長、委員共 70%
役員活動費 Officers' Activity Expenses		
会 長 President	60,000	
次期会長 President - Elect	15,000	
第一副会長 1st Vice President	15,000	
第二副会長 2nd Vice President	15,000	
書 記 Secretary	25,000	
会 計 Treasurer	25,000	
C L O Communication Liaison Officer	5,000	
議会法規役員 Parliamentarian	10,000	
編 集 者 Editor	40,000	
役員会会場費 Meeting Room	50,000	
常任委員会活動費 Standing Committee Expenses		
資格認証 Accreditation	10,000	
会計監査 Audit	3,000	
予算・財務 Budget & Finance	2,000	
会則・決議 Bylaws & Resolutions	15,000	
大会準備 Conference Planning	1,000,000	
選 挙 Election	5,000	
国際交流 International Relations	5,000	
PREM PREM	130,000	含 増設チーム
指 名 Nominating	15,000	
プログラム・教育 Program & Education	60,000	含 CMT 資料費
スピーチコンテスト Speech Contest	50,000	
特別委員会活動費 Special Committee Expenses		
通信書記 Corresponding Secretary	1,000	
派遣員資格確認 Credentials	5,000	
寄付・遺贈 Donations & Bequests	3,000	
組織運営研究 Study of Organization Management	5,000	
監 修 Editorial Supervision	15,000	
慶 弔 費 Greetings & Condolences	20,000	
接 待 費 Hospitality	5,000	
役員就任式費 Installation of Officers	15,000	
役員研修費補助 Subsidy for Officer's Training Expenses	70,000	
CMT 出席者補助 CMT Attendance subsidy	400,000	CMT 出席者交通費補助
世界大会出席者補助 ITC Conf.Attend.subsidy	0	
物品購入費 Purchase of Materials	10,000	
翻 訳 費 Translation Cost	180,000	マスターマニュアル翻訳 他
雑 費 Miscellaneous Expenses	20,000	
小 計 Sub Total	9,204,000	
予 備 費 Reserve Fund	1,959,002	
合 計 Total	11,163,002	

2009 年 9 月 2 日

第 28 期 予算・財務委員会 東口 光子 堤 其美子 藤原 いと

ITC 日本リージョン第 28 期事務局予算書

(2009 年 8 月 1 日～ 2010 年 7 月 31 日)

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	備 考
事務局運営費	3,400,000	
使用料 (事務所・コピー機)	1,000	
資料売上見込み	2,400,000	
雑収入	1,000	利息他
合 計	5,802,000	

支出の部

科 目	予算額	備 考
事務局経費		
事務所家賃	1,440,000	共益費含む
人件費	1,030,000	
光熱費	80,000	
コンピュータ管理費	50,000	ドメイン代含む
レンタルサーバー費	40,000	
プロバイダ費	20,000	
電話料	70,000	インターネット回線料含む
設備・備品費	200,000	事務用品・事務用機器を含む
活動費		
事務局長	10,000	
コンピュータ部	7,000	
出版部	10,000	
資料部	7,000	
翻訳部	15,000	
経理部	7,000	
交通費	200,000	
資料印刷・仕入れ代	2,300,000	
資料運搬費	100,000	カウンスル資料部員との往復運搬費他
通信費・送料	30,000	振込手数料を含む
雑費	30,000	
予備費	156,000	
合 計	5,802,000	

2009 年 9 月 2 日

第 28 期 予算・財務委員会 東口 光子 堤 其美子 藤原 いと

リージョンホームページへようこそ！！

日本リージョンウェブサイト（ホームページ）の URL <http://www.itcjr.jp/>
会員ログイン…ユーザー ID に会員番号／パスワードに名前の姓のローマ字の小文字を入力

「パスワードを記憶する」にチェックを入れれば、次回からはこの画面操作は不要です。次回からは OK をクリックすれば、作業は終わりです。



事務局から「リージョンメール第28期」が会員の皆様に届いていると思います。そこにはリージョンからの重要なお知らせが満載されていますが、FtBの概略付き目次も添付されています。同時にリージョンホームページに日・英FtBがアップされます。どれくらいの会員がこのホームページを見てくださっているのでしょうか？ホームページから会員専用ページへログインでき、事務局のウェブサイトも見ることが出来ます。そこにはリージョン関係、事務局関係、国際関係、またホームページを持っているカウンスルやクラブのウェブサイトも見ることが出来ます。とても楽しいですよ。

まだログインされたことがない会員は一度トライしてみてください。

事務局はこの「リージョンメール」をクラブCLOに発信する業務を行なうために例えばFtBに関しても[FtBを国際から受取]→翻訳部→英語・バイリンガルクラブが翻訳→翻訳部→監修（概略目次作成）→コンピュータ部→発信の為の作業→配信→クラブCLOへ……これだけの手と、多くの会員の協力を得て事務局発信業務が行なわれています。

教育資料を活用し「実践—知識を叡智に」

毎期5～6種の教育資料を国際から良いものを発掘し、翻訳部・監修を経て出版部が体裁を整えて印刷に出し、何度も校正をして発刊します。是非新しい教育資料を活用してください。「F1-手引き」というCDの資料があります。CDの中には24期日本リージョン教育委員会が作成した 1. クラブ例会 2. 会則改正の手順 3. ワークショップリーダー 4. デイバート が入っています。今期CDの原価が安くなっている為に値下げをしました。プリントアウトすると37枚にもなる充実した資料です。

事務局は会員の皆様とリージョン、国際とのコミュニケーションがスムーズに行くように日々業務に励んでいます。

[主な事務局業務]

- ☆リージョンメールの配信
- ☆リージョンウェブサイトを最新情報にする為の管理
- ☆会員名簿作成・発送等諸業務
- ☆教育資料の翻訳と出版
- ☆FtBや国際からの書類の翻訳
- ☆ITC年会費の手続き(Annual Statement)と送金
- ☆新入会員の入会手続きと送金
- ☆資料及び物品の管理と販売
- ☆物品の購入や作成
- ☆リージョン大会での資料・物品販売
- ☆会員データ、議事録等の資料の保管
- ☆事務局運営の経費支払や物品購入・印刷代金支払
- ☆NZドルの為替レートの市場調査 その他いろいろ

昨年度から監修はリージョン特別委員会に、また翻訳を外部に発注するための決定は今期からリージョン役員会にさせていただくことにしました。
◎その他何でもお問い合わせください。担当者に取り次いでお応えします

事務局を支えてくださる今期のスタッフ

<コンピュータ部>	部長 事務局長兼務	副部長 旭 栄 (阪神)
<出版部>	部長 中村記子 (六甲)	副部長 西田加代子 (三田)
<資料部>	部長 鈴江 恵 (西宮)	副部長 松山喜代子 (西宮)
<翻訳部>	部長 黒柳美紀子 (千種)	副部長 石丸和子 (愛媛)
<経理部>	部長 海老原あかね (しらすぎ)	副部長 瓜生原稔子 (甲南)

* 翻訳部員 (19名)

南谷みどり (葵)	古屋弓子 (錦)	奥田小夜子 (錦)	黒柳美紀子 (千種)
奥村啓子 (千種)	森川佐智子 (千種・刈谷)	清水京子 (千種)	鈴木宏子 (千種)
和邇玲子 (千種)	高橋和子 (阪神)	石丸和子 (愛媛)	林 恵子 (梅田)
古閑夏女 (北摂)	阿部玲子 (柏)	中野洋子 (柏)	小菅あけみ (サンデー)
高田信江 (筑波)	金澤佐恵 (サンデー)	柘植法子 (筑波)	

* FtBの翻訳

10 英語クラブと1 バイリンガルクラブ

* 8カウンスルのリージョン資料部員

No.1 田嶋邦子 (東山) No.2 青木千都子 (御影) No.3 和坂三智子 (淡路)
No.4 土田美奈子 (九州) No.5 田中絢子 (豊中) No.6 中西真佐子 (京都)
No.7 松下節子 (とっとり砂丘) No.8 三村典子 (東京)

* 事務職員

日高寿美子 (火・金 10:00～16:00)

事務局長 酢谷道子

日本リージョン資料・物品目録

2009年8月～2010年7月

番号	品名	単価	番号	品名	単価
B1	資格認証課程	600	C34	即席スピーチを準備する	100
B7	儀典マニュアル	400	C38	テーブルトピックスの冒険	100
B8	グリーンソン議事法ダイジェスト	1,200	C40	効果的な会合運営	100
B9	カウンスル役員と委員会マニュアルとプログラムの概略	100	C41	組織化生活と時間を上手にやりくりする方法	100
B11	役員就任式	200	C42	討論の進行と統制についての学習	100
B12	ITCクラブを設立しましょう	100	C43	機能的な役員会の運営方法	100
B13	リージョン大会計画	100	C44	ITC教育及び訓練資料の独創的利用法	100
B14	ITCマスターマニュアル	500	C48	新入会員導入式	100
B15	オリエンテーションマニュアル	100	C50	運営手段—対立を乗り越えて(ワークショップ概要付き)	100
B16	クラブ新設への手引き	100	C51	会員の補充と保持	100
B17	増設リーダーのハンドブック	100	C55	クラブやカウンスルの表彰のためのアイデア	100
B20	プログラム作りのアイデア第2版	500	C56	広報活動とその目標	100
B21	Power Talk ITC (I・II)	1,000	C58	スピーチダイナミックス	100
B22	ワークショップの様式	100	C59	今日の話題のヒント	100
B23	会合企画者のハンドブック	100	C63	予算—その方法	100
B25	ITCクラブ増設方針および手順のマニュアル	100	C64	「創設者の月」プログラム	100
B26	役員及び委員長の仕事	100	C67	基本的な評価訓練	100
C3	議事運営手順ゲーム	100	C68	スピーカーを紹介する	100
C5	クラブ計画	100	C69	逸話を利用しましょう	100
C8	教育委員長のための教材	100	C80	創設者のメッセージ	100
C9	自分自身の目標を決める しょうという気持ちがあればなし遂げられる	100	C81	総評のための手引	100
C10	PREM (プレム) プロジェクト その実行方法	100	C82	クラブ教育 / プログラム計画	200
C12	基礎を楽しくボイス・トレーニング (発声訓練)	100	C83	救命ボートに乗り込め	200
C13	上手な聴き方のワークショップ	100	C84	スピーチ構成のワークショップ	100
C15	ストーリーテリング	100	C85	即興スピーチコンテスト	100
C18	カウンスル サービスビューロー運営と組織	100	C86	ジェスチャーの使い方のワークショップ	200
C26	議会法規役員の仕事と責任	100	C87	緊張を解きほぐすための / ウォーミングアップ	200
C27	マイクロホンの使い方	100	C88	刺激に富んだ会話術	100
C28	ディベートのテクニック	100	C89	議事法の基本	150
C29	役員就任式のワークショップ	100	C90	見つけるためにファイルしましょう	200
C31	グループ討論をリードするための準備	100	C91	対立を処理する	150
C32	1時間例会	100	C92	聞く技術を高める	200

番号	品名	単価	番号	品名	単価
C93	討論を導き、コントロールすることを学ぶ	150	ITC185	クラブ 書記ピン	800
C94	質問-素晴らしい教育ツール	100	ITC190	クラブ 会計ピン	800
C95	時が経つにつれて	150	ITC195	クラブ 第一副会長ピン	800
C96	主張と攻撃	100	ITC220	カウンスル 第二副会長ピン	800
C97	現在にふさわしいくだけた文章	150	ITC230	カウンスル パーストオフィサーピン	800
C98	ユーモア：きらめきとスパイスを加えて	150	ITC235	カウンスル パーストプレジデントピン	800
F1	手引き-CD 1.クラブ例会 2.会則改正の手順(クラブレベル) 3.ワークショップリーダー 4.ディベート-基本とパリエーション	100	ITC240	カウンスル プレジデントピン	800
F2	世界大会(2005年)ワークショップ資料-CD	100	ITC250	カウンスル 書記ピン	800
EPCNo.1	役員会のあり方	100	ITC255	カウンスル 会計ピン	800
EPCNo.2	クラブ議事録のサンプル	100	ITC260	カウンスル 第一副会長ピン	800
EPCNo.3	議事法を識る会	100	ITC320	リージョン 第二副会長ピン	800
EPCNo.4	ITCクラブ例会の手順	100	ITC330	リージョン パーストオフィサーピン	800
EPCNo.6	会計マニュアル 質疑応答集	100	ITC335	リージョン パーストプレジデントピン	800
PT1	POWERtalk マスターマニュアル	2,300	ITC340	リージョン プレジデントピン	800
	物 品		ITC345	リージョン 次期会長ピン	800
D1	日本リージョン 10周年沿革史	100	ITC350	リージョン 書記ピン	800
D2	日本リージョン 20周年沿革史	100	ITC355	リージョン 会計ピン	800
D3	ITC日本リージョンパンフレット	300	ITC360	リージョン 第一副会長ピン	800
D4	ITC日本リージョン 会員名簿	700	PT100	POWERtalk 会員ピン	600
D5	ITCロゴ入A4コピー用紙(50枚)	250	PT380	POWERtalk クラブ スピーチコンテスト ウィナーピン	800
D6	便箋A4サイズ(1冊50枚)	300	PT385	POWERtalk カウンスル スピーチコンテスト ウィナーピン	800
D7	便箋B5サイズ(1冊50枚)イラスト	200	PT390	POWERtalk リージョン スピーチコンテスト ウィナーピン	800
D8	メモ帳	200			
D9	マークシール	200			
D10	定形 よこ型封筒(1束10枚)	200			
D11	定形外 角2封筒(1束10枚)	250			
D12	ストラップ付名札	700			
D13	ITCマーク会員ピン	600			
	国際物品				
201	グリーソン議事法ダイジェスト(英語)	500			
ITC90	表彰状	400			
ITC155	クラブ 第二副会長ピン	800			
ITC160	クラブ 派遣員ピン	800			
ITC170	クラブ パーストオフィサーピン	800			
ITC175	クラブ パーストプレジデントピン	800			
ITC180	クラブ プレジデントピン	800			

資料・物品申込方法

申込先： ITC日本リージョン事務局
〒531-0072 大阪市北区豊崎3-10-2-604
アイランドエフ梅田
Tel & Fax 06-6375-5015
Eメール： itcjapan@itcjr.jp

●火・金曜日(10:00～16:00)事務局には
日高寿美子事務員がいます。
Eメール、FAX、での申し込みは常時受け
けます。
問い合わせの電話は事務員の在局時間内
にお願いします。

(注)事務局棚卸期間 2010/7/22～2010/8/5
この間は資料・物品の出荷は出来ません。

会報をつくるに当たって

リージョン会報は、会員の皆さまのために出版されるのですから「会員の役に立つ冊子をつくること」、それが私たちの目標です。

昨今、IT化がもたらす目覚ましい変化は誰もが認めるところですが、情報の受け方の差異により、価値感のズレが生まれていることも事実です。そのような時代だからこそ、ITCがブレない「行動の核」を持ち、ブランドが輝き、その輝きを持続させるための羅針盤となるこの冊子の重要性を感じます。また、ITCの未来をつくる各クラブの勇気ある実践をどれだけ盛り込められるかが、私たちに課せられた役割と考えます。

メールで日々流れる情報とは異なり、歴史に刻まれ、いつまでも色あせない記事を盛り込みたいと、私たち編集スタッフはこれから一年間、一生懸命に努力したいと思います。

第28期編集者 高木彬子

Japan Region 1

ITC 日本リージョン会報
Vol.28 / No.1

編集・発行：第 28 期 ITC 日本リージョン
印刷：(株) 広島デザインセンター

ITC Pledge

ITC宣誓

We, as members of International Training in Communication, hereby pledge to improve our communication and leadership skills, in order to achieve greater understanding throughout the world.

我々インターナショナル トレーニング イン コミュニケーションのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

2009-2010

ITC日本リージョン声明文

Mission Statement of Japan Region

ITC日本リージョンの使命は、ITCの目的とするコミュニケーション技術と組織運営の技術を習得する機会を会員に提供してリーダーシップをそなえた社会人を養成し社会に貢献することにある。

The mission of ITC Japan Region is to present the members opportunities for quality training in communication and leadership skills which are the purposes of International Training in Communication and benefit the society by providing mature individuals.